

人口流出要因と対策について【10/28のGW、個人発表より】

| 状況・要因 | 対策 | 行政の取り組み等 | | |
|--|--|--|---|--|
| 【職業・職場】 地元で若者が好む企業がない 高学歴に見合った企業がない 車で1時間の通勤圏は大変、親も進めない (地元で就職しても)住まいがない 出産後に復帰できる職場がない | 【職業・職場】 空き家等の積極的活用 住居を安価で提供し、近隣市町に転出している若年世代の流出を抑止できないか。 ・空き家紹介 海津市の主要産業 ⇒ 農業 ⇒ キツイ・食えないイメージ ⇒ 食べる農業、新しい農業？ | 【事業名】 海津市職場ガイド 海津市企業立地促進制度 海津市企業立地促進に係る固定資産税の特例制度 | 【内容】 市内の企業情報を市民に公表し、事業所側にも市民を採用していただくよう依頼している。(主に高校生の就職に役立てることが目的) 本市における企業の立地を促進するため必要な助成措置を講じ、本市の産業の振興と雇用の拡大を図り、経済の活性化と市民生活の安定に資することを目的 本市における企業の立地を促進し産業の振興と雇用の拡大を図ることを目的 | 【管轄課】 商工観光課 商工観光課 商工観光課 |
| 【出産・子育て】 通学距離が長い、帰り道が暗く心配 (子育て世代は)コミュニケーションが苦手 休日診療が少ない、情報が足りない 学童保育サービスが充実していない 出産、子育てへの不安 育児ストレス、相談できない環境 | 【安心できるまちづくり】 子育て支援(子育てサポーターの積極的活用) ボランティアさんはたくさんいるが、継続的に活動できるような支援が必要ではないか。 NPO活動の支援 子育て中の親が安心して利用できる施設や仕組み 24時間サポートしてもらえるサービス(医療関係) 現行の行政サービスでは駄目なのか。 多様な市民ニーズを解決するために、どんな人・場所・制度・しくみが必要か。 | 【事業名】 子育て支援拠点事業 育児支援 留守家庭児童教室 ※休日当番医 NPO意見交換会 市民活動団体登録制度 ※市民活動ボランティア支援センター | 【内容】 子育てについて悩んでいる方への相談及び、子育てに関するいろいろな情報を知りたい方を支援(市内保育園で実施中) 親子交流の場(各施設の開放) 児童の帰宅時、労働等により保護者及び同居の家族が不在となる、幼稚園児と小学校に就学しているおおむね10歳未満の児童に、公共施設を利用して留守家庭児童教室を開設 海津市医師会で実施。医師会病院は24時間、救急・急患診療の受け入れ体制。小児救急は大垣市民病院。 市内NPO6団体と年に数回意見交換を開催 登録市民活動団体を支援(補助金はなし) 市民活動に対する相談、活動支援(会議室、コピー機・印刷機等の貸与)、情報提供など実施 | 【管轄課】 児童福祉課 児童福祉課 児童福祉課 海津市医師会 企画政策課 企画政策課 社会福祉協議会 |
| 【都会への憧れ】 現状での不満、都会に出れば何とかなる 自己変革 出会いがない 都会への憧れ | 大都市になる事はできないが、名古屋と近距離にあることを活かした取り組みを考えることができないか。 逆に大都市の人から羨ましがられるまちであればどうか。交流人口の拡大によりそ | 【事業名】 | | |
| 【高齢者】 公共交通等、生活環境の心配 将来への不安 孤独な環境(家庭内でも孤独) | 【高齢者の活躍】 リーダーの育成 活躍できる環境づくり ・高齢者の市民活動への参加 ・雇用の確保 都市間連携によりコミュニティバスの利便性を高めることはできないか。 | 【事業名】 生涯学習講座 高齢者学級 老人クラブ支援 コミュニティバス | 【内容】 市民一人一人が自らを高める機会を生涯にわたって確保できるよう、市民参加型の生涯学習講座を開催 高齢者の健康維持や生きがいづくりを目的に開催 高齢者最大の自主組織として、老人クラブ活動の更なる活性化を図るとともに、高齢者が健康で長寿の喜びを実感できる魅力あるクラブづくりを実践していけるよう支援 市内全域(全自治会)においてコミュニティバス運行 | 【管轄課】 生涯学習課 生涯学習課 高齢福祉課 総務課 |
| 【地域コミュニティ】 転入者に対し「仲間に入れてやる」という思想 時代にそぐわない(地元の)古いルールなど | 【地域コミュニティ】 小学校区で、高齢者と子どもが関わる仕組みづくり 地域コミュニティへの参加促進 小さいときから子どもに地域での関わりを持たせる(繋がりがあれば、将来帰ってこれる、帰りやすい) 思想の転換「来ていただく」「このまちに来てください」 自治会活動に対する提案はできないが、活動を支援することは可能ではないか。押し付けてはならない支 | 【事業名】 海津市自治会活動等交付金交付 まちづくり人材育成事業 にこにこ子育て支援事業地区行事 ※近隣助け合いネットワーク事業 | 【内容】 地域の連帯意識の高揚、住民福祉の向上及び市政の円滑な運営を図るため補助金を交付 地域コミュニティを盛り上げるリーダーを発掘、育成することを目的に講座を実施 海津町小学校校区9箇所(高須は5に別れている)をモデル地域として、地域の希薄化を防ぐことを目的に交流事業の推進を依頼した(実施済み) 自治会における住民同士のつながり(見守り・ふれあい・助け合い活動)を積極的に展開する。 | 【管轄課】 企画政策課 企画政策課 生涯学習課 社会福祉協議会 |
| 【その他】 大きいイベントは一部の人が参加 他県、他市町からの転入者は、転出することに抵抗がない。その子どもも同じ。 土地柄やむを得ない(都市に行き慣れている) 3町の持ち味、特性を活かしきれていない 養老鉄道(経費ばかりの議論では?) 人口減に対する関心がない | 【その他】 Uターン、Iターンの支援 電車の車両塗装でイメージチェンジ 駅前広場の整備(5つの駅を有効活用) 定住化の啓蒙、人口減のPR(人口減によるデメリットと対策) 自然の豊かさは誇れる(子育てに良い環境) 【魅力あるまちづくり】 海津市の住民自身が、より海津市を知ること 海津市が誇れること 家族のつながり ふるさと海津への愛着、思い出 市民全員参加のイベントなど 家賃補助 海津市の人口減少・流出について積極的にPRし、市民と行政が問題を共有するべきではないか。「来てください」という思想の転換につながるのでは。 | 【事業名】 海津市サポーターズクラブ 養老鉄道活性化協議会 海津の宝もの探し(H22実施予定) 希少生物保護育成 海津市グリーン・ツーリズム協議会(H22設立予定) | メールマガジンによる情報の配信(イベントや観光情報、まちづくり情報) 揖斐川町、池田町、神戸町、大垣市、養老町、海津市、桑名市 まちの魅力を市民の大切な“宝もの”として認定することにより、市民が地域の宝を知り、市への愛着心を高めるとともに、市のイメージアップを図る 市内の希少生物を保護育成し、豊かな自然・生態系を守る 農業を活かしたまちづくりにより、交流人口の拡大を図る(収穫祭、地産地消の店等) | 企画政策課 総務課 企画政策課 生涯学習課 農林振興課 商工観光課 |